

防災

2021年に放送された、NHK連続テレビ小説の「おかえりモネ」では、過去の災害の教訓や、地域で傳承されている災害の予兆、地域の方の知識などが描かれ、気象予報士となる主人公の成長はもとより、防災という側面でも知見の深まる内容で興味深く視聴していました。気象予報の様々な場面を知る良い機会となりました。



DISASTER PREVENTION

防災・減災について

話をしたこと、考えたことがありますか？

市町村から発表される避難情報 (内閣府防災情報ページ)

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※1
警戒レベル4までに必ず避難!			
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示 (注)
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。**警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません!**

避難勧告は廃止されます。これからは、**警戒レベル4避難指示**で危険な場所から**全員避難**しましょう。

避難に時間のかかる**高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである
 (注) 避難指示は、令和3年の災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令する

警戒レベル3で避難に時間を要する人は避難を!

避難に時間を必要とする人は、どのように避難するのか、協力してくれる方はいるのかななどを日頃から考えておくことも必要です。一人で考えず、地域の方などと話し合いをして、避難訓練もしておきましょう。**家族だけでなく、近所・地域とのコミュニケーション**をとることを意識することは、いざという時の大きな助けになります。お住いの都道府県、市区町村では、ハザードマップを作成し公表しています。土砂災害の危険箇所、予想される浸水の深さなどの情報や避難場所が表示されています。防災・減災について考えるきっかけとして**ハザードマップを確認**してみましょう。

あさクリ コラム COLUMN 「災害への備え」

6月を災害への備えを見直す時期にしてみませんか?コロナもまだまだ大変ですが、災害への備えとして逃げる準備はとても大切。ご近所さんとの何気ない会話やご家庭での会話がやっぱり基本です。「どんな準備がいるの?」「避難するならどこ?」などの会話はとても大切なものです。ぜひ一度そんな会話をしてみて下さい。いざという時では遅いのかもかもしれませんね。命を繋ぐためにも早めの備えを。